

第2回府民公募型安心・安全整備事業審査委員会の概要

日時 平成23年10月14日（金） 午後2時05分から3時40分

場所 京都府丹後保健所講堂

委員	京丹後市社会福祉協議会長	梅田耕之助
	与謝野町婦人会顧問	小牧恵子
	宮津市建設室長	前田良二
	京丹後市建設部長	大村隆
	伊根町地域整備課長	泉良悟
	与謝野町建設課長	西原正樹
	京都府教育庁管理部管理課長	石田斉
	京都府警察本部交通部交通規制課長	富永良介
	京都府丹後広域振興局企画総務部長	大槻博司
	京都府丹後広域振興局建設部長	山崎隆

平成22年度、23年度の事業実施採択分の進捗状況について

22年度（9月末現在）：土木75.5%、その他は100%、全体では76.6%
23年度（9月末現在）：第1回採択分の既完成施設なし。

平成23年度の公募状況について

提案案件を現地調査する中で、施設所管課が異なることが2件判明。

・急傾斜地施設（土木）→ 治山施設（農林商工部）

・道路センターライン引き直し（土木）→ 黄色の追い越し規制線（警察）

資料2-1～2-3について、上記の変更に基づき一部修正。

技術審査結果について

○土木事務所分

・実施箇所を緊急性に応じ3分類に区分し実施。

実施：229件、実施しない：74件（採択率75.6%）

○農林施設分

実施：1件、実施しない：0件（採択率100.0%）

○教育施設分

実施：0件、実施しない：1件（採択率0%）

○警察関係分

実施：5件、実施しない：8件（採択率38.5%）

委員の主な意見等

〈質疑等〉

Q：土木事務所に係る個表内の「実施内容」の欄に実施しないと記載してある場合と、「備考」の欄に実施しないと記載されている場合があるため統一すべき。

A：京都府のホームページ掲載予定のため、府民にもわかりやすいよう統一する。

Q：同じ地域内で、道路側溝改善の提案が数件（提案場所は異なる）あった案件についていずれも一部実施となっているがその実施判断について説明願いたい。

A：複数提案のあった場所の側溝工事を全て実施すると大規模工事となり実施でき

ないこととなるが、提案者（地元区長）の意向を聞き、特に工事が必要と判断される箇所を部分的に実施する。

Q：横断歩道の設置基準について説明願いたい。

A：現場の交通量、横断者の多さ、現場の見通し状況等を勘案し、特に、交通量と横断時の危険性の高さを重視。

Q：警察施設整理番号5の丹後ふるさと病院前の信号機設置要望は昨年度もあり、地元としては要望が強いが、信号機設置ではなく、警戒標識にする理由について再度説明願いたい。

A：現場付近はふるさと病院の近くではあるが、見通しの良いところであり、交通量も横断に時間を要するほど多くない。従って押しボタン式の信号機設置までは必要ないと判断しているが、提案内容の一つである警戒標識の設置については道路管理者に要請していく。

(6) 審査

技術審査結果どおり了承。

<参考>

○今回提案分審査結果

	審査件数	実施決定数	実施せず
土木関係分	303	229	74
農林施設関係分	1	1	0
教育関係分	1	0	1
警察関係分	13	5	8
合計	318	235	83

○今年度提案分審査結果

	審査件数	実施決定数	実施せず
土木関係分	417	319	98
農林施設関係分	3	3	0
教育関係分	1	0	1
府施設(滝高原牧場)関係分	1	1	0
警察関係分	20	8	12
合計	442	331	111